

地域研修の充実化に向けた指摘事項等と対応(案)

資料2-4

区分	地域研修の充実化に向けた指摘事項等	情報源	自治体	対応(案)
開催前の調整等について	災害対応の都合で音声講義となった単元があったが、 <u>講義終了後の質疑</u> をしやすいと思うので、可能ならば <u>講師に来ていただきたかった。</u>	担当者ヒアリング	大分県	災害対応等の影響で予定していた講師が登壇できない場合、代替りの講師を手配する等して、可能な限り講師派遣できるように調整する。
	<u>音声での講義</u> で代わりに良かった。	受講者最終日アンケート	熊本県 大分県	
	<u>会場(広さ・設備)</u> に関するアドバイスが欲しかった。	担当者ヒアリング 講師アンケート	熊本県 広島県 静岡県 広島県	会場のレイアウト例を示して、会場の空間配置イメージが湧きやすいようにする。 (令和2年度の募集時に対応済) 申込用紙(別記様式1)に会場の広さの目安として「※広さは最低でも150㎡必要」を追記。
カリキュラムについて	<u>自主提案単元</u> がどういった内容で提案すれば良いのか分かりにくかった。令和元年度の <u>実施例等</u> を示すと良いのでは。	担当者ヒアリング	広島県 大分県	ホームページに、各地域のカリキュラム及び、自主提案の内容を取りまとめた資料を掲載していく予定。
	座学だけでなく、 <u>演習などで参加者同士の交流</u> ができるような研修にしたい。	担当者ヒアリング	熊本県 静岡県	提案単元内で実施できるよう提案を受け取る。
	災害対応を経験した他県の職員等に <u>体験談を講義</u> いただくような単元があっても良い。	担当者ヒアリング	大分県	
	<u>中級者向けの研修</u> を地域で実施できるような支援が欲しい。	担当者ヒアリング	熊本県	地域研修では初級者を対象としているため、県独自の研修として開催していただく。(講師派遣については内閣府も協力する)
開催時期・時間について	基礎的な内容であることから、 <u>出水期前の開催</u> が出来ると良い。	担当者ヒアリング	熊本県 静岡県 奈良県	(令和2年度の募集時に対応済) 6月から開催できるよう公募を2月から開始
	小さい自治体では <u>2日間の研修に参加することが難しい</u> 自治体もあるのではないかと。	担当者ヒアリング	広島県	(第4回の対応案を一部修正) 地域研修の基本カリキュラム上、1日間のカリキュラムでの開催では、地域研修の学習目標を達成できないと考えているため、県独自の研修として開催していただく。(講師派遣については内閣府も協力する)
自立した研修実施について	<u>防災に関する最新の動向</u> について、情報のやり取りをするための体制・関係ができると良い。	担当者ヒアリング	大分県	地域向けの研修指導要領の作成を進めるとともに、講義資料の提供をできるような仕組みを検討する。
	<u>最新の知見をいれた研修資料</u> 等の提供いただきたい。	担当者ヒアリング	熊本県	
	<u>カリキュラム作りのノウハウや講師選定の情報</u> 等が不足している。	担当者ヒアリング	奈良県	
	今後も <u>国の支援で継続して開催</u> されることを望む。	担当者ヒアリング	大分県 広島県 静岡県 奈良県	令和2年度も継続して実施する。
その他	<u>受講証明書の発行</u> が任意だったが、基本的には発行するほうが良い。	担当者ヒアリング	大分県	基本的に受講証明書を発行することを公募要綱に記載する。今年度の結果を踏まえて、標準的な受講証明書のフォーマット(文面や署名)を用意する。